

**当社「放射線汚染土壌の減容実証事業」プロジェクトの
経済産業省公募「震災復興技術イノベーション創出実証研究事業」採択に関するお知らせ**

株式会社北川鉄工所
総務部長 門田廣夫
：0847-40-0501

当社の「粘土(セシウム吸着性が高い)と砂礫の分離による放射線汚染土壌の減容実証事業」プロジェクトを、経済産業省が公募する平成23年度第3次補正予算「地域イノベーション協創プログラム補助金(震災復興技術イノベーション創出実証研究事業)」へ応募したところ、2月10日付けで採択されましたのでお知らせいたします。

当社実証研究の概要

1. 実証研究の概要

当社が保有する土壌の洗浄、分級、脱水、固化などの技術を活用して、除染土壌を最終処分可能な多量の低汚染土壌と、保管負担の少ない少量の高放射線土壌に分離することの実証研究に取り組みます。なお研究期間は本年3月頃から10ヶ月程度を予定しております。

2. 目的

当社の土壌処理機械の技術を用いれば、莫大な放射能汚染土壌の処理に必要な減容中間処理装置が精想可能と判断し、応募いたしました。減容中間処理装置の事業化により、汚染土壌を低コストで円滑な処理が可能となり、東日本大震災の被災地復興に大きく貢献できると考えております。

3. 共同研究者

国立大学法人広島大学

放射性物質の取扱及び計測についてその権威であられる静間教授をはじめ広島大学にご協力いただき、研究を進めてまいります。

以上